

## 最近の電話相談・来室相談から

親子で相談室を訪れたAくんは、小6の時、陸上競技大会で優勝したこともある運動能力の高い児童でしたが、なぜか中学校では不登校でした。学習の遅れを心配する周囲に対し「自分はしないからできないだけで、やろうと思えばできるから」と変な自信を持っているのでした。案の定、公立高校に合格はしたものの5月には早々と退学、その後、就職するも高卒資格を持たない場合の社会の厳しさを悟り、現在は通信制高校に学びアルバイトもして、数日後に行なわれる単位認定試験に向けて頑張っているとのことでした。表情も明るく、顔つきも精悍な若者になっていました。



不登校の子どもたちにはいろいろな手が差し伸べられていますが、家庭訪問をしても会うことすらできない状況の子もいるようです。無理に連れ出したとしてもいい結果は生まれません。中3の生徒を抱える親御さんや学担は進路のことが気になるところでしょうが、焦ってもどうなるものではありません。

何も手を打たないのは論外ですが、一人一人成長の度合いが違いますから、機が熟すのを待つことも必要です。

シャイニング卒業生の中には高校に進学し、精勤賞をもらうなど元気に過ごしている生徒が何人もいます。新しい環境がその子に合っていたということがありますが、一般に不登校だった生徒が高校に進学したからといって休まず通学できることはまれです。冒頭のAくんが中途退学しなければならなかったのは、身体が、脳が、高校生活に耐えるだけの準備ができていなかったからでしょう。頑張ろうと言う気持ちだけでは続くものではありません。

朝普通に起きられること。そして、学校に通えるだけの体力や朝から6校時の授業を受けられるだけの体力があること。中学校の学習内容より難しい内容についていけるだけの学力があること。さらに、孤立せずに仲間とかかわれる力（コミュニケーション力）があることです。そうでないと折角入学しても「こんなはずではなかった。（ドロップアウト）」という残念な結果になってしまいます。適応指導教室への通級はそうした体力・学力・コミュニケーション力を支援する場でもあります。

学担の先生方には適応指導教室（シャイニングクラス）という支援の場があることを悩んでいる子どもたちや保護者の皆様にご紹介いただきたいと思っています。

## 「～晴れ時々曇り～」 生徒たちのこの頃

昨年に比べ早い秋の訪れ、長雨の日本列島。そして、鬼怒川や渋井川の氾濫による水害。雨の多かった9月上旬、朝の出だしがなかなか一定せず、今日生徒たちは何人来るのかなと思う日々が続いています。（気分は曇り）9時頃に最初の人が見せて、9時10分頃部屋に向かいます。日によっては9時半、10時ごろやってくる生徒もいます。

でもしばらくすると、いつものように真剣に取り組む生徒たちと学習していると今日も晴れだなという気持ちになります。学習内容を理解させられずに悩むことはあっても、生徒たちの顔に出会い、元気をもらっている日々です。話し声に張りがあったり、笑顔が見られたりするとほっとします。



心の中では将来を案じているが、なかなか大人数の中に入ると落ち着かず、学校に行くのが億劫になり、

ついつい落ち込む。学校に行く必要性は感じていても行動に移せず、そんな自分を嫌になることが続いている生徒たちが増えているように感じています。通級生の中にもそんな人がいます。しかし、学習する場所に来るまで嫌だなどと思っても、週1時間の教科学習だから大切にしなければという言葉が聴けるようになり、連続して休むことがなくなっている生徒たちに成長を感じています。

## 「積極的で楽しむ生き方にふれました」

10回目の体験は「キャリア教育」、ALTのブレーク先生の話をお聴きました。英会話もねらいながら、先生の生き方やチャレンジ精神を学ぶことを第一に、講話をお願いしました。



ブレークさんの自己紹介 (9/17)

あいさつの練習や質問したいことなど、事前に準備しました。質問事項の英訳には皆でない頭を絞り、最後は英語担当の先生の力を借りて当日を迎えました。パソコンを使っての自己紹介には興味津々でした。広大なアメリカの自然や観光地、経済、食べ物、学校、故郷、そして先生の家族などの説明に、生徒達は目を丸くしていました。

いよいよ生徒たちの質問タイムになりました。先ほどとは大違い。息を大きく吸い込み表情も硬く、一瞬間を置いて。でも何回か発音の練習もしてきたこともあり、全員用意した英会話を発表することができました。先生は1つ1つ褒めながら丁寧に、ゼスチャーを交えて答えてくれました。生徒たちは目を細め普段とは違う笑顔を見せていました。それに、行ってみたい外国の地名や食べ物の話をする中で、積極的で和やかな先生の生き方を肌で吸収できたような気がしました。

そして感想発表。生活スタイルや文化の違い、外国で生きること、そして未知の世界へのあこがれなど、大いに刺激になったことを発表し合いました。その後、折り鶴やコマ、恐竜など独創的な折り紙もプレゼントしました。先生は、思いの外喜んでくれたばかりか、チョコとCD、それに1ドル紙幣をプレゼントしてくれました。みな大喜びでした。終わりに、相談員から贈られた「コサソリの標本」を手にした瞬間、「ビビった！」という先生の驚きように、爆笑しました。印象的で楽しく学ぶ場となりました。



左は「キャリア教育Ⅱ」の様子、右はブレークさんからプレゼントされた「1ドル紙幣」「CD」「アメリカのチョコレート」(9/17)。

## 9月の活動 シャイニングクラス在籍5名

### < シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

◆ 体験活動⑩ 9月17日(木)  
「キャリア教育Ⅱ(将来の夢を描く)」

◆ 体験活動⑪ 9月24日(木)  
「ものづくりⅡ(紙粘土を使って)」

写真は粘土で作った煎餅や果物(9/24)



### あ と が き

「〇〇ちゃんの性格が悪い。なのに〇〇ちゃんはそれを全然分かっていない。分からせないといけない！」まさに正義感。正義感の強すぎる子は「相手の悪いところを直したい」という気持ちが強い。そういうことを理解していないと「いじめ対策」はこじれます。教師も正義感で指導すると、いじめと同じパターンになってしまいます。相手の気持ちを尊重しながらやっていくしかありません。すぐには解決しませんが、焦らずじっくりとかかわれば、ひどい事態にはなりません。神経を使うので疲れます。時間もかかります。大事なことは「嫌われないこと」です。嫌われたら話も何も通じないからです。

### 教育相談連絡先

- ダイヤルなんでも相談  
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)  
TEL 22-2111  
(内線 445、448)  
林、小野、鈴木が担当です。